週刊 高齢者住宅新聞
2013年（平成25年）10月23日
Elderly Press Newspaper エルダリープレス ニュースペーパー
（毎週水曜日発行）
第276号
（株）高齢者住宅新聞社　〒104-0061 東京都中央区銀座8-12-15　TEL.03-3543-6852（編集部）
http://koureisha-jutaku.com　発行人　西岡一紀　年間購読料 21,000円（送料込・税込）

リハビリ型デイ運営に着手

開設支援受け法人化

今夏、法人設立されたエターナルスマイル（神奈川県綾瀬市）が、綾瀬市でシニア向けフィットネス型リハサロン「ウインズさがみ野」の運営を10月1日に開始した。法人設立とリハビリ型デイサービス開設の経緯などについて河野富美子社長に話を聞いた。

エターナルスマイル
河野富美子社長

――法人設立とデイサービス開設の経緯について

河野　私はこれまで、訪問介護事業所に勤務し、長年、神奈川県の大和市や綾瀬市で在宅の高齢者に対して訪問介護サービスを提供してきました。サービス利用者は病院退院後、自宅に戻ってから身体状況を悪化させたという人や、身体に麻痺はあるが脳には障害が無く、リハビリをしたいという思いを持っている人が大勢いました。訪問介護サービスを提供しながら「このような状態になる前に何かあったはずでは」と思い続けてきました。綾瀬市も高齢化が進んでいることは感じていたため、現在、日本全国でニーズの高いリハビリ型デイサービスを開設することで地域貢献したいと考えるようになったのが法人設立のきっかけです。

――法人設立で苦労した点は

河野　リハビリ型デイサービスの需要があることは確信していましたが、実際の運営方法やノウハウなどは持ち合わせていないため、不安はありました。そこで色々と自分なりに調べ、リハビリ型デイサービスの開設支援を行っているサロンオールディーズ（東京都中央区）に相談をしました。サロンオールディーズは法人立ち上げに際し、県などへの書類申請を始めとした一連の煩雑な手続きを全面的にフォローしてくれました。FCではないため、毎月のロイヤリティーなどが無いのも魅力的でした。また、機能訓練を行うため、理学療法士や作業療法士、柔整師、看護師などの人材確保が課題となりましたが、この点は非常に困難を極めました。私には理想と考える人員体制があり、サロンオールディーズは代替案なども用意した上で最終的には私の意見を尊重し、後押ししてくれました。今は必要な人員も揃い、非常に順調と言えます。

▲「ウインズさがみ野」の外観

――稼働率は

河野　10月1日に開設し、10月3日には2人から利用申し込みをいただくなど、順調に利用者が増えています。特に、初めての利用者は脳梗塞で倒れたことがあり、半身麻痺を持つ要介護5の方でした。自営業の方で、病院リハビリを卒業後、仕事復帰を目指して当施設に通ってもらっており、まさに私が求める利用者像であったことからこの事業を始められた喜びを改めて感じています。開設後は電話だけではなく、施設の前を通った高齢者やその家族から口頭で問い合わせを受けることも多く、手応えを感じています。

――今後について

河野　サロンオールディーズの開設支援により導入したリハビリマシン「リハトレーナー」は利用者個々に合ったプログラムでトレーニングを続けることができ、私自身も満足していますし、利用者からも好評です。まずは地域に根差し、利用者自身から「通いたい」と言ってもらえるような施設にしていきたいと思っています。高齢者の憩いの場となることも目標にしており、トレーニングをしつつ、仲間を作ってもらえるようフリースペースも設けました。現在は開設したばかりなので当施設のことで精一杯ですが、将来的には2店舗目、3店舗目と運営していけるよう努力していきたいと思います。

▲「リハトレーナー」も好評